

令和8年度

# 「運営に関する計画」

〈学校協議会〉

大阪市立真田山小学校

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題****【安全・安心な教育の推進】**

本校は、1000名以上の児童が在籍している大規模校である。これまでも児童同士の関係づくりを進めるため、学年間の交流や異学年との交流の機会を設け、安心して登校できる環境づくりに努めてきた。一方、登校渋りを含む不登校児童の増加が課題となっており、令和8年度より不登校支援に向けたスペシャルサポートルーム(SSR)を開設する。関係機関とも連携し、改善に向かえるよう支援していく。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

これまでに話し合い活動の充実に取り組んできた成果が見られ、児童アンケートの結果からも話し合い活動が定着してきたことが表れている。これまでの取り組みを生かし、さらに深めていけるよう進めていく。また、児童数に対して運動場が非常に狭く、安全のため休み時間の運動場の開放は2学年ずつとしているため、運動量の確保が課題である。体育科の授業を中心に、体力向上に向けた取り組みを充実させていく。

**【学びを支える教育環境の充実】**

1人1台端末の導入以降、授業をはじめ日々の学校生活において、授業用及び児童用端末の活用は進んでいる。心の天気の入力など毎日、時間を決めて行うことで習慣づいてきている。今後は、ICT機器の活用を通して、児童の考える力やコミュニケーション能力の向上を目指した取り組みを進めていく。

教職員のICT活用も進め、保護者への配付物もメール配信を活用し、児童、教職員の時間の削減にもつながっている。教職員が児童に関わる時間や十分な授業準備の時間を確保するため、校内会議等の精選やICT活用の工夫を進めていく。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。【令和7年度 83.1%】
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。【令和7年度 84.3%】
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を2.2%以下にする。  
【令和7年度2月末時点 2.53%】

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。【令和7年度 46.6%】
- 令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各種目別平均と体力合計点を、男女ともが全国・大阪市より上回るようにする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。  
【令和7年度2学期時点 28時間】

大阪市立真田山小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

**【安全・安心な教育の推進】**

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。【令和7年度 83.1%】
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。【令和7年度 84.3%】
- ・校内調査における不登校児童の在籍比率の割合を、前年度より減少させる。【令和7年度 2.53%】

学校園の年度目標

- ・校内アンケート「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。【令和7年度 前期88.6% 後期87.8%】

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。【令和7年度 46.6%】
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。【令和7年度 70.8%】

学校園の年度目標

- ・校内アンケート「毎日、学校にハンカチやティッシュを持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。【令和7年度 前期78.1% 後期81.1%】
- ・校内アンケート「かんしゃの気持ちをもって、食べ物を大切にしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。【令和7年度 前期95.7% 後期94.2%】

**【学びを支える教育環境の充実】**

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を、令和7年度より1時間削減する。【令和7年度2学期時点 28時間】

学校園の年度目標

- ・安全、安心な教育活動を確保するために、校内の美化活動及び環境整備を推進する。  
※ 校内アンケート「きれいにそうじをできていますか」【令和7年度 前期72.0% 後期69.5%】

3 本年度の自己評価結果の総括

**【安全・安心な教育の推進】**

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

**【学びを支える教育環境の充実】**

## 大阪市立真田山小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。【令和7年度 83.1%】</li> <li>・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。【令和7年度 84.3%】</li> <li>・校内調査における不登校児童の在籍比率の割合を、前年度より減少させる。【令和7年度 2.53%】</li> </ul> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内アンケート「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。【令和7年度 前期88.6% 後期87.8%】</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】</p> <p>学活等の時間を活用し、児童同士がつながる場を設定する。</p> <p>指標</p> <p>週に1回以上、児童同士の交流の場を設定する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】</p> <p>児童の欠席、遅刻、心の天気の状態を細やかに把握し、チームで対応、対策をすることで、不登校の防止に努める。</p> <p>指標</p> <p>週に1回以上、SKIPの学級ボードや生活指導部会の報告、ファイル等を活用して、学年で共有するとともに、月に1回、生活指導部会で報告、共有する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>異学年交流の活動の中で、達成感や自己肯定感を得られるように、場の設定や展開をくふうする。</p> <p>指標</p> <p>年間を通して実施される異学年交流の活動の中で、感想を伝え合う機会を1回以上設定する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>外部人材を活用して、「人・もの・こと」と出会う機会を設け、夢や目標をもつことができるように指導する。</p> <p>指標</p> <p>各学年で、年間1回以上、外部人材を活用した学習や体験を実施する。</p>	

## 大阪市立真田山小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を47%以上にする。【令和7年度 46.6%】</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。【令和7年度 70.8%】</li> </ul> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内アンケート「毎日、学校にハンカチやティッシュを持ってきていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。【令和7年度 前期78.1% 後期81.1%】</li> <li>・校内アンケート「かんしゃの気持ちをもって、食べ物を大切にしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。【令和7年度 前期95.7% 後期94.2%】</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>ポジティブなフィードバックで自己肯定感と学習意欲を高めるとともに、児童の実態を踏まえ、興味・関心を引き出す授業づくりを行う。</p> <p>指標</p> <p>校内児童アンケートの「自分から進んで学習していますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を取組前の前期の結果よりも向上させる。【令和7年度 前期84.7% 後期85.7%】</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>運動の機会の確保や体力向上のために、「チャレンジ運動タイム」を設け、体力づくりに努める子どもを育てる。</p> <p>指標</p> <p>「チャレンジ運動タイム」を年2回以上設ける。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>健康強調習慣を設けるとともに、委員会活動を通じて各学級のハンカチ・ティッシュの携帯状況を確認することで、衛生面への意識向上に努める。</p> <p>指標</p> <p>健康強調週間を年2回実施する。また、各学級でのハンカチ・ティッシュの確認を週1回以上行う。家庭や学園への啓発として、保健だよりを毎月発行する。</p>	

取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】

給食強調週間を設けるとともに、委員会活動を通じて給食に興味を持てるような取り組みをすることで、食への意識向上に努める。

指標

給食強調週間を年1回以上実施する。また、食に関する指導を年2回実施する。家庭や学園への啓発として、給食だよりや食育だよりを毎月発行する。

## 大阪府立真田山小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。</li> <li>・教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を、令和7年度より1時間削減する。 【令和7年度2学期時点 28時間】</li> </ul> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全、安心な教育活動を確保するために、校内の美化活動及び環境整備を推進する。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 学級経営及び、学習指導においてICTの活用を推進する。</p> <p>指標 学習者用端末でデジタル教材などを活用した学習を積極的に行い、校内アンケートの「学習者用端末を使うことで、楽しく学習することができていますか」で肯定的な回答を94%以上にする。【令和7年度 前期91.7% 後期93.7%】</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「ゆとりの日」には、閉庁時間までに退勤できるように、身近な同僚や学年間で互いにタイムマネジメントを意識し、声をかけあう。</p> <p>指標 時間外勤務時間数が年720時間を超える教員が一人も出ないようにする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 掃除用具を整備し、毎日の清掃指導を徹底する。</p> <p>指標 校内アンケート「きれいにそうじをできていますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。【令和7年度 前期72.0% 後期69.5%】</p>	